

メタボロミクスの検体の準備について

1. 血漿

採血管：EDTA-Na, K およびヘパリン血漿（それ以外はお問い合わせください）

処理：採血後すみやかに攪拌し、2000～3000 rpm, 4°C, 10～20 min 遠心します。

上清をマイクロチューブ（エッペンチューブ）に移し、

速やかにドライアイス、または-80°Cフリーザーにて凍結します。

マイクロチューブには略号、または番号を記入ください。

必要量：300 μL 以上（望ましくは500 μL 以上）

保存：-80°C

運送：弊社営業がドライアイス入り運搬箱を用意して持参いたします。

-80°Cフリーザーから移しかえてください。

リスト：マイクロチューブの表記（略号または番号）とサンプル正式名との対応表を用意ください。

またサンプルの群、およびどの群とどの群を比較するかをご指示ください。

2. 組織

処理：組織摘出後、すみやかに液体窒素につけ凍結させ、-80°C保存ください。

当社が粉碎用のチューブを事前に送付させていただきます。

凍結組織を100～300 mgの大きさに粉碎し、重量を測定後、当社指定のチューブに入れてください。

チューブには油性マジックで2か所に番号を記入ください。

（チューブはその後ホルダーに入れるため、シールは巻かないでください。）

チューブはただちに液体窒素、またはドライアイスで冷却し、

運搬日まで-80°Cで保管ください。

必要量：100～300 mg

保存：-80°C

運送：弊社営業がドライアイス入り運搬箱を用意して持参いたします。

-80°Cフリーザーから移しかえてください。

リスト：チューブに記した番号とサンプル正式名との対応表を用意ください。

各サンプルの採取重量を記入ください。

またサンプルの群、およびどの群とどの群を比較するかをご指示ください。

3. 培養細胞

処理 : 細胞上清を一度捨て、PBS を加えて細胞を洗浄後、細胞をかきとり
マイクロチューブに移してください。チューブには油性マジックで2か所に番号
を記入ください。

チューブはただちに液体窒素、またはドライアイスで冷却し、
運搬日まで-80°Cで保管ください。

必要量 : 10^7 個 以上

保存 : -80°C

運送 : 弊社営業がドライアイス入り運搬箱を用意して持参いたします。
-80°Cフリーザーから移しかえてください。

リスト : チューブに記した番号とサンプル正式名との対応表を用意ください。
各サンプルの細胞数を記入ください。

またサンプルの群、およびどの群とどの群を比較するかをご指示ください。